

学校教育目標 智徳をみがき、健康でたくましく生きる「河瀬の子」の育成 校訓 みがけ智徳

めざす学校像

学校づくりは学級づくりから
学級づくりは授業づくりから

- ・一人一人が大切にされ、安心安全に過ごせる学校【生命】
- ・多様性を尊重し、個に応じた支援が行き届く学校【特別支援教育】
- ・お互いを認め合い、共に高め合う学校【学びに向かう力の向上】
- ・地域に根ざし、地域に愛され、信頼される学校【地域連携】

児童の実態と課題

素直さがあり元気に遊ぶ子ども
協同的・共同的な学びが弱い
基本的生活習慣の確立が不十分
基礎的基本的な学力が弱い
家庭学習の未定着

地域の実態と課題

古い歴史と地域教育力の高さ
多様な価値観の共存
充実した学校への支援協力体制
家庭教育力の格差

人間力 の向上

めざす子どもの姿
智徳をみがく「河瀬の子」

ねばり強く学ぶ「河瀬の子」

- 友達の話を聞き合い学ぶ子
- 分からないと率直に言える子
- 納得するまでともに追究できる子

思いやりのある「河瀬の子」

- 気持ちをこめてあいさつができる子
- 読書が好きな子
- 友だちと感動をともにできる子
- いじめを許さない子

たくましく元気な「河瀬の子」

- 早ね・早起き・朝ごはん
- 元気にみんなと遊べる子
- 心身ともに鍛える子

「生きる力」 の育成

学校力 の向上

確かな学力の向上と学習習慣の確立

- 主体的に学びに向かう力の向上
- 学校と家庭が連携する学習習慣づくり
- 学び方を自分のものにできる力の育成

学校づくりの核となる校内研究

「共に学び合う、きき合う集団づくりをめざして」

- 子どもの尊厳、人格を大切にする(ケアリング)
- 子ども一人ひとりの学びを保障する(授業改革)
- 全職員が教育の専門家として成長する(教師力)

特別支援教育の推進

- 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
- 個別の教育支援計画の活用による組織的支援
- 通常の学級との交流及び共同学習の計画的な推進

→個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

信頼される学校

保護者・地域の声を生かした学校経営

- 双方向からの学校経営の創造
- 説明責任・結果責任・情報の共有化
- コミュニティースクールの推進
- 「地域の学舎」構築

地域の材質や地域の教育資源の活用

- 地域学校協働活動の推進
- 学校運営協議会との連携
- 保幼小中高会館との連携

自らの生き方を見つめるキャリア教育

SDGs

テーマ 觸れあい(愛) 学びあい(愛)

- 人が輝く人権教育の推進
- 人と触れ合う体験学習の充実
- 自然に優しい環境教育の推進

教師力 の向上

いつまでも成長を続ける教師

- ・組織・チームとしての動き
- ・子どもに学びの力を育てる授業づくり
- ・一人ひとりの教師が我が校の自慢が語れる

めざす教師像

- ・子どもの心を大切にする教師
- ・教育実践に打ち込む教師
- ・教え育てることの厳しさと喜びを分かち合える教師
- ・和をもって協力し合う教師